

令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）事業報告

会議開催

I 定時総会

令和2年6月19日（金）令和2年度定時総会を福岡市博多区博多駅前2丁目福岡朝日ビル会議室において開催し、会員総数63名のうち、58名（内、委任状38名）により令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）事業報告及び決算報告、同監査報告について審議のうえ承認された。

また、令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）事業計画及び収支予算について説明し報告を行った。

II 理事会

令和2年度は理事会を4回開催し、会の運営に関する諸事項について審議のうえ議決した。

第1回理事会 令和2年5月27日

- 承認事項
1. 令和2年度定時総会に付議する事項
 - ・令和元年度（H31.4.1～R2.3.31）事業報告及び決算報告について
 - ・監査報告
 2. 役員の改選及び選任について
 3. 総会の開催と提出議題について

- 報告事項
1. 協会の状況報告について
 2. 令和元年度事業計画及び予算について

第2回理事会 令和2年6月19日

- 承認事項
1. 代表理事（理事長・松尾 和巳）の選定について
 2. 常務理事（西 保幸）の選定について

第3回理事会 令和2年12月7日～8日（書面開催）

- 承認事項
1. 職務執行状況報告について
- 報告事項
1. 協会運営の報告と今後の取組について

第4回理事会 令和3年3月26日

- 承認事項
1. 令和3年度(R3.4.1~R4.3.31)事業計画(案)及び収支予算(案)について
 2. 役員報酬について
 3. 職務執行状況報告について
- 報告事項
1. 令和2年度(R2.4.1~R3.3.31)事業見込及び決算見込み額について
 2. 公益目的支出計画の実施状況について
 3. 職務執行状況報告について

実施した事業

一般社団法人への移行に伴い、令和2年度(R2.4.1~R3.3.31)は下記の公益目的の支出計画に基づく実施事業並びに収益事業として書籍販売事業、派遣事業、技術支援事業を実施した。

I 公益目的支出計画に基づいて実施した事業

(別紙：「公益目的支出計画実施報告書」のとおり。)

II 収益事業

1. 書籍販売事業

・実施事業で刊行する「九州技報」の販売を実施した。

2. 派遣事業

・計器監視業務への派遣を実施した。

3. 技術支援事業

・建設現場の遠隔臨場の普及支援を実施した。

・地場建設会社への技術支援を実施した。

附属明細書

令和2年度(R2.4.1~R3.3.31)における事業報告につき、その内容を補足すべき重要な事項は存在しない。

(別紙)

公益目的支出計画実施報告書

I 公益目的支出計画に基づいて実施した事業

1. 支援事業

ダム・水資源及びこれに関連する地域づくり等に関する下記事業を支援した。

① 地域活性化等支援事業

地域住民やNPO等、市民や市民団体を中心とした地域づくり活動、防災活動、各種学習会等の公益活動を行った 11 団体に対して助成を行った。

② 調査・研究等支援事業

大学・高等専門学校、個人研究者等が行う社会資本整備、水資源環境、総合防災に関する調査・研究活動者 5 名に対して助成を実施した。

2. 自主事業

建設技術広報事業

産・学・官共同の編集委員会のもと、九州地方の建設技術についての最新情報を集めた情報誌『九州技報』を 2 回（10 月、3 月）刊行した。

3. 公益目的支出計画に基づく特定寄附

特定寄附については、令和元年度をもって終了した。

II 令和 2 年度（R2. 4. 1～R3. 3. 31）公益目的支出計画実施報告書の内容

1. 公益目的財産額 : 算定日 平成 25 年 7 月 31 日

財産額 580,570,413 円

2. 当該年度の公益目的収支差額（①+②-③） 352,867,686 円

① 前年事業年度末日の公益目的収支差額 322,873,747 円

② 公益目的支出の額 29,993,939 円（計画 27,345,000 円）

③ 実施事業収入の額 0 円（計画 0 円）

3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額

227,702,727 円（計画 237,388,413 円）

4. 2 で記載した額が計画した見込額と異なっている理由と概要

当該年度における実施事業別の公益目的支出計画額及び公益目的支出額並びに支出額－支出計画額の理由は以下のとおり。

①継 1：地域活性化等支援事業

公益目的支出計画額：17,038,000 円、支出額：15,638,982 円

支出額－支出計画額：△1,399,018 円

[差額が生じた理由]

年度当初において、過去の実績及び当該年度における人員構成の見直しを考慮し、公益目的支出計画額を 3,570 千円上回る 20,376 千円の予算を計上していたが

- ・支援費の予算額 11,000 千円に対し、6,792 千円の執行額となり約 4,200 千円の執行減額となった。

これは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、支援予定 22 団体のうち 11 団体において事業の中止または支援辞退が発生したためである。

- ・人件費(役員報酬、給与手当、法定福利費)のうち、役員報酬において新理事長(非常勤)の報酬額を計上していたが、支払条件に合致する活動が生じなかったこと、及び給与手当において、70 歳を迎える嘱託職員の交代を予定していたが、そのまま継続雇用としたため、合わせて約 430 千円の執行減となった。

以上の理由等により、当初の予算額 20,376 千円に対して 15,639 千円の執行額となり、約 4,737 千円の執行減額となった。

したがって、公益目的支出計画額に対し約 1,399 千円の支出減となった。

②継 2：建設技術広報事業

公益目的支出計画額：10,307,000 円、支出額：14,354,957 円

支出額－支出計画額：4,047,957 円

[差額が生じた理由]

年度当初において、過去の実績及び当該年度における人員構成等を考慮し、公益目的支出計画額を 4,931 千円上回る 15,238 千円の予算を計上していたが、

- ・人件費(役員報酬、給与手当、法定福利費)のうち役員報酬において、新理事長(非常勤)への報酬支払条件に合致する活動がなかったこと、及び給与手当において、70 歳を迎える嘱託職員の交代を予定していたが、そのまま継続雇用としたために約 730 千円の執行減となった。

・旅費交通費において、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、県外への出張が取りやめとなったことから、約 130 千円の執行減となった。

以上の理由により、当初の予算額 15,238 千円に対して約 14,355 千円の執行額となり、約 880 千円の執行減額となった。

したがって、公益目的支出計画額に対し約 4,048 千円の支出増加となった。

③特定寄附（寄 1）

特定寄附については、令和元年度で終了したため、令和 2 年度以降の支出はない。

令和 2 年度における、上記実施事業全体では、公益目的支出計画額：27,345,000 円に対して、支出額：29,993,939 円となり、2,648,939 円の支出増となっているが、前年度までの支出累計額及び今後の実施事業の規模等から実施期間に影響はないと考える。

5. 公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日 令和 13 年 3 月 31 日